

① エチオピア

SATREPS『砂漠化対処に向けた次世代型「持続可能な土地管理（SLM）」 フレームワークの開発』プログラム



エチオピアSATREPSの調査風景



土砂流出量調査



小流域での河川流量を測定している留学生(Mulatu)

② スーダン

SATREPS『スーダンおよびサブサハラアフリカの乾燥・高温農業生態系において持続的にコムギを生産するための革新的な気候変動耐性技術の開発』プログラム



スーダン農業研究機構（ARC）で乾燥・高温耐性コムギ育種開始。
この写真メンバーの多くが鳥大卒業生または客員研究員経験者



農業生態系での微気象観測

③ モロッコ

国際乾燥地農業研究センター（ICARDA）・モロッコオフィスとの連携



ICARDAの圃場での鳥取大学海外実践演習。オランダ・ユトレヒト大学の学生達と交流し、乾燥地農業を学んだ。



海外実践演習でモロッコ・メクネスで開催されていた国際農業博覧会を訪問。様々な家畜の品種を見学し、その性質を学んだ。



鳥取大学大学院卒業の留学生がICARDAの育種家になり、モロッコ実験圃場にて乾燥地研究センターで開発のコムギ系統の乾燥耐性調査を行う。

④ エジプト

ダハラオアシスでの農業気象観測



年降水量がほぼゼロmmのダハラオアシスでは豊富な化石地下水を用いて水田を作っている。



ダハラオアシスのコムギ圃場において土壌水分の鉛直プロファイルを観測するための土壌水分計を設置。



ダハラオアシスの圃場脇の道路で昼食

④ 南アフリカ

南アフリカ・フリーステイト大学、農業研究機構との共同研究：南アフリカ草地の植生調査



ベスレヘムの草地での植生調査



キンバリーの草地での植生調査



プレトリアの農業研究機構、土壌・気候・水研究所